



# たか子のあつたが通信

発行責任者：塩原孝子 連絡先：松本市寿北5-15-27 Email: takako092@outlook.jp ☎0263-27-1122 (共産党)

## 「憲法を変えるな」の声大きく 憲法九条が海峡派兵を止めている

日米首脳会談で高市首相はあらゆる分野で、日米同盟のさらなる強化を約束し、エネルギー分野に1兆円もの対米投資を約束しました。しかし、ホルムズ海峡への艦船派兵については茂木外相は「九条の制約がある」ことを認めました。「憲法九条」が生命力を發揮している証です。

日本にはアジア・太平洋を侵略した加害の歴史があります。数年前に中国の「南京大虐殺記念館」を訪れ、そこで観た日本人の加害の歴史は人間とは思えない残虐な行爲でした。「戦争」は人間を人間ではなくしてしまいます。



3・22 アメリカは直ちに戦争やめよとコモ庄内で訴え



3・22 松本駅前での宣伝  
手作り憲法九条横断幕を掲げて

「戦争」は絶対にしてはいけないと強く思いました。

今、憲法九条が歯止めになっていきます。若者を戦場に送ってはなりません。多くの皆さんと手をつなぎ憲法九条を守っていきたく強く思います。

もう二度と戦はしない (憲法九条)

「井上ひさしの子どもに伝えたい日本国憲法」

私たちは、人間らしい生き方を尊ぶという

まことの世界をまごころから願っている

人間らしく生きるための決まりを大切に

おだやかな世界をまっすぐに願っている

だから私たちは

どんなもめごとが起こっても

これまでのように、軍隊や武器の力で

かたづけしてしまつたり方は選ばない

殺したり殺されたりするのは

人間らしい生き方だとは考えられないからだ

どんな国も自分を守るために

軍隊を持つことができる

けれども私たちは

人間としての勇気をふるいおこして

この国がつづくかぎり

その立場を捨てることにした

どんなもめごと

筋道をたどつてよく考えて

ことばの力をつくせば

かならずしずつまると信じるからである

よく考えぬかれたことばこそ

私たちのほんとうの力なのだ

そのために、私たちは戦をする力を

持たないことにする

また、国は戦うことができるという立場も

みとめないことにした

## 教育・福祉的ユースセンターを

ユースセンターは学校でも自宅でもない第三の居場所です。運営の主体は若者ですが、ユースワーカー<sup>(\*)</sup>が常駐しています。全国的には中高生が対象で子どもの居場所、相談、活動の3つの機能が充足できる場所を想定しています。

茅野のユースセンターを視察しました。バンドをやりたい、家や学校に居場所がない、ひとりで静かに過ごしたい、仲間と活動したいなど利用する子どもの思いは多様でした。

茅野ユースセンター  
受付

議会の閉会日に「ユースセンター設置条例」を15対13で否決しました。その条例をめぐって12

人の議員が討論に立ちました。

そもそもユースセンターの目的等を議論する期間が不十分でした。そして、花時計公園西側の旧献血ルームは15人から30人の利用が限界で狭さの問題もありました。利用年齢も15歳から35歳までとなっていました。不登校の子どもが多い中でもっと福祉的、教育的な視点を取り入れたセンターを要望して共産党議員団も反対しました。

(\*) 若者の成長や自立を支援し、安心できる居場所や多様な経験を作り出す専門スタッフ



## 総選挙でのご支援・ご協力 ありがとうございます

日本共産党は藤野候補の議席回復を果たせず議席を減らしてしまいました。ご期待に応えられず残念です。

高市政権に対決して、松本市議会でも憲法を真ん中に据えた共同で平和と暮らしを守るために全力あげます。

小選挙区制の下で生み出された

今後とも引き続きご支援をお願いいたします。

## 賛成し可決した請願

- ★ 梓川高校生による松本市役所新庁舎における眺望を楽しむための展望スペースの土日祝日及び夜間の一定時間帯に限定した開放に関する請願
- ★ 消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める請願

## 反対したが可決した議案

- ◆ 国保税や後期高齢者医療保険料へ子ども子育て支援分が上乗せされます。

児童手当の充実や子ども誰でも通園制度などの財源確保のために一人あたり8年度は月2500円、9年度は3000円、10年度は4000円と上乗せ課税されます。財源を税金で賄うのでない制度の立て付けそのものがおかしいために反対しました。

- ◆ 松本市職員等の公正な職務の執行を妨げる行為の防止に関する条例(カスハラ条例)

職員を守ると共に市民の基本的人権を守ることを求め、命令に従わない時は氏名の公表をするという文言があり反対しました。

## 賛成し可決した決議

「イランをめぐる武力行使の即時停止と対話による平和的解決を求めるとする決議」



## 弱者が使いやすい生活応援クーポンにしてほしい

●ハガキの文字が小さすぎて、虫眼鏡でやっと見た。●スマホのない人は利用できない。●より必要な人が利用できないのではないか。●紙クーポンへの変更は長野まで電話で、コロナワクチンの

ように繋がらないのではと気が重い。●紙クーポンは3千円券2枚でおつりが出ない。●いつも使っている店が使えずがっかり。●市役所はスマホを持っていない人の実態をつかんでいるか 困難な

人への配慮をてほしい。●事業を民間委託で委託料は市民の税金なのだろうか。●DX化を進めるために弱者を切り捨てようとしている様に感じる。(市民から寄せられたたくさんの声)



# 2月議会

2月議会録画配信  
5人目



## 特別養護老人ホーム民間移管問題

**塩原** 四賀福寿草や岡田の里など特別養護老人ホームを民間に移管する計画がある。松本市民の入所者数割合と待機者は何人いるか？

**健康福祉部長** 371人の入所で、松塩筑木曾老人福祉施設組合の45.6% 待機者は301人いる。

**塩原** ケアマネから経済的理由や保証人がいないなど入所困難なケースの受け入れ要望がある。市が負担金を継続投入してセーフティネットの役割を果たすべきだ。

**健康福祉部長** 民間移管により、施設を維持していくことがセーフティネットにつながる。

## 不登校支援と教育の在り方

**塩原** 不登校児童数は年々増加し、小中学生で750人に上る。在籍率も中学生は6.5%と高い。

子どもや保護者向けにアンケートを実施すべきではないか？



## 教育監

オンライン教育支援センター利用アンケートでは、児童の62%が利用してみたいと答えた。「不登校支援関係者懇談会」を開催して保護者の卒直な意見を聞いている。当事者や経験者の声に真摯に耳を傾けたい。

**塩原** 特別支援学級に通う子どもや発達障がいの子どもが増えている。過度な競争と管理が学校を窮屈にしていると言われている。不登校児や精神疾患で休業する教員も増加している。



教育長がめざす学校の姿は？

また、不登校は「子どもや親のせいではない」というメッセージを発信してほしい。

**教育長** 違いを尊重して協力協同へ。競争から「共創」へと学校が変わる必要があると考えている。

行きも帰りも笑顔となれる学校づくりを推進し、学校に行けない子どもに様々な学びが用意され、全ての子どもが充実した人生とより良い社会を作る当事者となるように努めていく。

## 申請・利用がしやすい生活保護制度に

**塩原** 生活保護率が減少している過去5年間の本市の保護率と相談が受給開始につながる人数は？

**健康福祉部長** 保護率は7.8%から6.9%に減少。相談から受給開始までに32%減少。

## 本年度予算

### 一般会計1149億円

要望してきたことが実現



### 小学校給食費の無償化、

国からの補助金5200円/月  
市独自915円/月 上乗せ補助



### 補聴器購入補助

軽度・中等度難聴者 上限3万円  
(非課税・課税の区別あり)

共産党市議団7回の議会質問で実現



### 福祉医療の対象拡大へ

精神障がい者の入院を  
県と市が補助

松本市は8月から開始  
1級は所得制限なし 2級は一部負担  
食事代は半額助成

当事者の請願を受け一緒に取り組む

**塩原** 申請権を保障する「生活保護のしおり」の不備が指摘されている。改善を要望する。

**健康福祉部長** 「しおり」改正をR8年4月に予定している。

**塩原** 生活保護利用者から人権に配慮した対応を求め、声が複数届いている。当事者の声を聴く機会を設け、実態把握すべきではないか。



**健康福祉部長** 実態調査は利用者の生活状況や抱えている課題を的確に把握し、きめ細やかな支援につなげるのに有効であると認識している。国が統一的な調査項目や基準を定めて実施することが望ましい。

## 広報松本の位置づけ

**塩原** 広報の表紙は写真が良いという意見がある。市民意見を聞くQRコードを掲載する計画はないか。

**広報室長** 表紙は内容に応じて写真とイラストを使い分けている。真とイラストを使い分けている。QRコードは掲載する。\*

**塩原** 広告料金が4万円から20万円になり掲載を断念したとの相談がある。委託業者と料金設定を問う

**広報室長** 県外業者に委託し金額は民間取引で市の定めはない。今後は公共の媒体への広告掲載の妥当性を検討していく。

**塩原** 配布を担っている町会の負担軽減はできないか？

**広報室長** 町会デジタル化推進プロジェクトが発足し、来年度から町会活動に必要なアプリを導入していく。3年を目途に紙媒体をなくしていく。

(\*) 4月号裏表紙に掲載されました



# 暮らしの相談から



## 相談 診療の縮小

四賀地区にお住まいの方から四賀の里クリニックの診療縮小で今までお世話になっていた医師が4月から来なくなる、薬剤師もいなくなる、クリニックから言われて患者として困っている。どうにかならないかとの相談

## 対応

クリニックの事務長と連絡を取り地域住民向けの説明会を開催するよう要望しました。患者が減少して経営が厳しい実態もお聞きしました。

## 相談 外国籍の方のケア会議

外国籍で、日本語の理解が不十分で、金銭管理も難しいという高齢者が居て対応に困っていると、ケアマネジャーより相談

## 対応

担当の地域包括支援センターに相談し、個別の地域ケア会議を開いてもらい、課題整理と今後のケア方針を話し合うことができました。

## 相談 難病の医療費助成について

小児白血病のお子さんの医療費について、20歳までは医療助成があるが、20歳を過ぎると受けられなくなるというわかれた。経済的に大変になるという相談

## 対応

保健所の管轄というので、話を聞きました。医師の診断書があれば20歳過ぎても助成対象になる場合もあると、相談者に伝えました。

## 相談

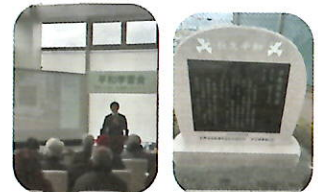
### 市立考古博物館の整備を

中山にある考古博物館の外にあった竪穴住居が火災に遭いその跡が長年放置されたままになっている。石が凸凹していて子どもが遊ぶのに危険なので整備できないかという相談

## 対応

考古博物館の館長に要望を伝え、現場と一緒に確認しました。本館の改修時に一体的に整備ができるか検討することとした。他にもペンキが薄くなっている箇所もあるので、出来る所から補修をお願いしました。

## 平和学習会



協立病院の九条の碑の建立記念の平和学習会に参加しました。

講師は愛知県立大学の久保田貢先生。日本の行った侵略戦争、加害の歴史を知らない若者が多い。又日本国憲法が誕生した過程や意味を改めて学ばました。

## 活動日誌



### 脱原発集會に参加

市役所への通話の録音が1月から開始されるにあたり、中止を求めました。様々な理由で相談するため、電話をする市民を遠ざけることになってはいけません。個人情報保護の観点からも不安であることを担当課に伝えました。

## おふる券のとりくみ全国

お風呂券を無くさないでの運動が『議会と自治体』に載りました。要求がつながることの大切さを学びました。



## ほっとひといき

農業と福祉の連携をしている中山にあるB型作業所の内覧会にお邪魔しました。慣れないイチゴの栽培を手掛け、やつと地域の方にお披露目できる機会を持つことができました。ここまで来るのに沢山のご苦労があつたようです。イチゴの摘み取りも体験させてもらい、一緒に行った孫たちも大満足。甘酸っぱいイチゴ、ごちそうさまでした。



## 選挙公報の全戸配布

選挙公報が全有権者に配布されていないのは問題だと、市民からの指摘を受け要望したところ、この衆議院選挙から全戸に配布されました。歓迎の声がありました。

## 市役所への通話の録音



市役所への通話の録音が1月から開始されるにあたり、中止を求めました。